



# 「がんばれ! チーム大分」

事務局 〒870-8503 大分市府内町 3 丁目 1 0 番 1 号  
大分県教育庁体育保健課内  
TEL097-506-5642/FAX097-506-1812

## 工藤秀明スポーツ奨励賞に 1 団体・3 選手

公益財団法人大分県体育協会「工藤秀明スポーツ奨励賞」授与式が 11 月 8 日（火）に行われ、第 71 回国民体育大会において優勝した 1 団体と 3 選手が表彰されました。

団体はボート競技（少年女子）の舵手つきクォドルプル大分県選抜チーム。予選・準決勝をトップで通過し、周囲からの期待が膨らんだ決勝では、接戦になりながらも最後はプライドと意地、仲間との絆で優勝を果たし、同種目では国体二連覇を達成しました。

個人の一人目は、ウェイトリフティング競技（成年男子 94kg 級）の赤松哲郎選手（法政大学 4 年）。スナッチ 2 回目の試技で 151kg を成功させ優勝を決めると、3 回目は自らの大学記録を更新する 154kg を達成。トータルでも優勝を果たし、念願の国体タイトルを獲得しました。二人目は同じウェイトリフティング競技（成年男子 105kg 超級）の野中雅浩選手（法政大学 2 年）。ジャークで 213kg の日本ジュニア新記録樹立を成功。ライバルたちとの勝負に勝つために積み重ねてきた努力が実り、トータルでも優勝を飾りました。三人目は、自転車競技（成年男子 1000m タイムトライアル）の一丸尚伍選手（社会福祉法人太陽の家）。プレッシャーの中、落ち着いたレース展開で 16 年ぶりとなる大会新記録、悲願の個人タイトルを獲得しました。

受賞された選手の皆さん、本当におめでとうございます。今後ますますのご活躍を期待しています。



広瀬知事を囲んで



ボート競技少年女子チーム

赤松哲郎選手



野中雅浩選手

一丸尚伍選手

## 国際大会優勝!

大野ひかる選手(世界空手道選手権大会)

大門 千紗選手(アジアジュニア選手権大会)

大分県賞詞授与式・優勝報告会が 11 月 21 日（月）に県庁舎で行われました。

第 23 回世界空手道選手権大会において、女子団体形で世界一に輝いた大野ひかる選手（大分市消防局）と 2016 年アジアジュニア選手権大会（ボート競技）でダブルスカル、舵手なしクォドルプルの 2 種目で優勝した大門千紗選手（日田林工高校 3 年）に大分県賞詞が授与されました。広瀬知事は「この快挙は県民にとっても喜ばしく、夢と希望を与えるものです。4 年後の東京オリンピックで活躍されることを期待します」と激励の言葉を送り、大野選手は「本当の勝負はこれからです。4 年後の東京オリンピック出場に向けて日々精進します」、大門選手は「東京オリンピックで金メダルの獲得が目標ですが、まずは来年 3 月の日本代表を目指します」と今後の目標を述べました。

これからも大分で育った多くの選手が世界で活躍し、2020 年東京オリンピックに出場できるよう応援します!



広瀬知事へ優勝報告する大野ひかる選手



大分県賞詞を受け取る大門千紗選手

# 第72回国民体育大会「えひめ国体」に向けて

## ○第36回九州ブロック大会 アイスホッケー競技

第72回国民体育大会冬季大会の代表権をかけた第36回九州ブロック大会アイスホッケー競技が、12月3日(土)に福岡県立総合プールのスケートリンクで開催されました。大分県選抜チームは宮崎県と対戦し、5-6で惜しくも代表権を獲得できませんでした。

第1ピリオド開始直後から相手のスピードある攻撃に対応できず、試合を支配され0-3で終了。第2ピリオドも先に点を取られたものの、次第に大分も攻撃にリズムが出て、反撃を開始し豊東・安部・中嶋選手が得点をあげました。互いに得点を重ねながら試合が進み、最終ピリオド残り2分で1点差に詰め寄りました。互いに気迫あふれる攻防が続く中、大分はゴールを決めることができず無念の試合終了。

県内に屋内リンクがない厳しい練習環境の中、2年ぶりの本国体出場を目指し、チーム一丸となって戦いました。最後まであきらめない「チーム大分」への想いを感じさせるプレーの数々に大きな声援が送られていました。選手・指導者の皆さん、お疲れ様でした！



試合前に円陣を組み、気合を入れる選手たち



相手に囲まれながらシュートする安部広大主将

## 大分県スポーツ振興基金事業 平成28年度スポーツコーチサミット開催

平成28年12月10日(土)大分県庁舎本館2階 正庁ホール

県内指導者の資質向上を目的とした「平成28年度スポーツコーチサミット」(大分県スポーツ振興基金事業)を開催しました。

講師として、昨年度に引き続き白石 豊氏(福島大学教授)をお招きしました。白石先生は『本番に強くなるメンタルトレーニング』と題し、これまで多くのスポーツ選手にメンタルトレーニングを行い、成果を挙げてきた事例の紹介などを織り交ぜながらご講演をいただきました。指導者として必要な資質として、「意欲」や「自信」以外にも「感情コントロール能力」や「コミュニケーションスキル」も選手を育てる上で大事な要素であることや、

「自信」は競技成績に比例するものではなく、練習によって培ったイメージの大きさが「自信」の大きさとなるので、選手のイメージを大きくすることが大切であることなど、ポイントを受講者に分かりやすく丁寧に説明してくださいました。また、メンタルも技術練習と同様に日々のトレーニングで成果が上がるが、知識・技術によって成果に差が出ると教えてくださいました。講演後のグループディスカッションでは、同じ競技や競技特性の似た指導者間で「メンタルに強い選手を育てるために」というテーマで意見交換を行いました。「選手への声かけが自信を育てる」という講演の内容を受けて、「曖昧な声かけであった」「具体的に分かりやすく伝える」といったすぐに改善できることの情報共有を行っていました。また、「初めて参加させてもらったが、若いときにトップの話を知ることができて良かった」「指導者とはどうあるべきか考えさせられた」といった感想が多く寄せられ、今後の「チーム大分」の競技力を支える指導者の皆さんにとって、指導力向上につながる意義ある研修会となりました。



福島大学人間発達文化学類 白石 豊教授

### ～ 大分県競技力向上対策本部 事務局より ～

○「がんばれ！チーム大分」Facebook ページを開設しました！ぜひ、ご覧ください。

(<https://www.facebook.com/team.ooita>)

・「チーム大分」の活躍の様子や競技力向上に向けた取組を発信しています

○大分県教育委員会ホームページ (<http://kyouiku.oita-ed.jp/sports.html>)

Facebook ページ  
QR コード ↓

